

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和02年12月14日

計画の名称	新居浜港における港湾施設の管理と利便性の向上（防災・安全）												
計画の期間	平成28年度～令和02年度（5年間）										重点配分対象の該当		
交付対象	新居浜市												
計画の目標	老朽化した施設の機能維持及び通行車両の大型化・重量化に対応するための改良を行い、港湾施設の安全と利便性を確保する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	426	A	426	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H28)	中間目標値 (H30末)	最終目標値 (R2末)
1	老朽化等により機能が低下した係留施設等に対し、機能を確保した割合の向上。 係留施設等の機能確保整備率 機能確保した施設数 / 機能確保すべき施設数（1基）	0%	100%	100%
2	老朽化等により安全性が低下し、改良の必要がある臨港道路橋に対し、補強を行った割合の向上。 橋梁の補強整備率 補強済みの橋梁数 / 補強が必要な橋梁数（2橋）	0%	55%	100%
3	改良を要する臨港道路に対し、対策を実施した割合の向上。 臨港道路の改良整備率 改良済み道路延長 / 改良を要する道路延長（1553m）	0%	41%	76%

備考等	個別施設計画を含む	<input type="radio"/>	国土強靱化を含む	<input type="radio"/>	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	-----------------------	----------	-----------------------	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H28	H29	H30	H31	R02			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
港湾事業	A02-001	港湾	一般	新居浜市	直接	新居浜港務局	重要	改良	垣生第1岸壁防舷材等改良	防舷材	新居浜港・東港地区						40	策定済	
	A02-002	港湾	一般	新居浜市	直接	新居浜港務局	重要	改良	臨港道路 橋梁改良	橋梁補強 N=2橋	新居浜港・東港地区						277	策定済	
	A02-003	港湾	一般	新居浜市	直接	新居浜港務局	重要	改良	臨港道路改修	道路改修L=1,553m	新居浜港・東港地区						58	策定済	
	A02-004	港湾	一般	新居浜市	直接	新居浜港務局	重要	改良	臨港道路 橋梁改良	橋梁補強 N=2橋	新居浜港・東港地区						51	策定済	
	インフラ緊急点検																		
												小計						426	
												合計						426	

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H28	H29	H30	H31	
配分額 (a)	40	23	61	0	
計画別流用増 減額 (b)	0	0	0	0	
交付額 (c=a+b)	40	23	61	0	
前年度からの繰越額 (d)	20	23	19	42	
支払済額 (e)	37	27	38	42	
翌年度繰越額 (f)	23	19	42	0	
うち未契約繰越額(g)	4	12	39	0	
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	6.66	26.08	48.75	0	
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由		地元調整に不測の時間を要したため。	地元調整に不測の時間を要したため		

事前評価チェックシート

計画の名称： 新居浜港における港湾施設の管理と利便性の向上（防災・安全）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応（地域の課題と整備計画の目標の適合性）が図られている。	○
II. 計画の効果・効率性 整備計画の目標と定量的指標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 定量的指標の明瞭性が図られている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果（要素事業の相乗効果等）の見込みが妥当である。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境整備が図られている。（事業熟度、住民等の合意形成等を踏まえた事業実施の確実性）	○

(参考図面) 政策分野

計画の名称	新居浜港における港湾施設の管理と利便性の向上(防災・安全)		
計画の期間	平成28年度 ~ 令和2年度	(5年間)	交付対象 新居浜港務局

